

# Raspbian(buster)へのマルチドメインおよびサーバー証明書の構成メモ

サーバー証明書をLet's Encryptからcertbotを使って取得設定するには、ドメイン名がDNSによって名前解決されており、なおかつドメインを運用するサーバにHTTPでアクセス可能になっている必要がある。

## ドメイン取得とDNS設定

ダイナミックDNSなどでドメインを取得し、DNSでの名前解決ができていることを確認する。NATの影響が煩わしい場合はIPv6(AAAAレコード)を設定したほうがいいかもしれない。

### ドメイン例

1. [www.domain1.jp](http://www.domain1.jp)
2. [www.domain2.com](http://www.domain2.com)

## Apache2設定

まずApache2にドメイン設定を行う。Ubuntu系での設定例は下記の通り。

Domain name	Document root	Apache conf
<a href="http://www.domain1.jp">www.domain1.jp</a>	/var/www/html/domain1.jp	/etc/apache2/sites-available/www.domain1.jp.conf
<a href="http://www.domain2.com">www.domain2.com</a>	/var/www/html/domain2.com	/etc/apache2/sites-available/www.domain1.jp.conf

- [www.domain1.jp.conf](#)の設定例

```
ServerName www.domain1.jp
DocumentRoot /var/www/html/www.domain1.jp
```

### ドメイン設定の有効化

設定ファイルを作成したら、設定の有効化を行う。

```
$ sudo a2ensite www.domain1.jp
$ ls -ltr /etc/apache2/sites-enabled/
```

設定ファイルに対するシンボリックリンクが設定されていれば、有効化されている。

## サーバー証明書設定

サーバーへのhttpでのアクセスができていればcertbotでサーバー証明書の発行からApacheのSSL設定

までを行う。

```
$ sudo certbot certonly --webroot -w /var/www/html/www.domain1.jp -d  
www.domain1.jp -w /var/www/html/www.domain2.com -d www.domain2.com
```

From: <https://kijima.mydns.jp/dokuwiki/> - Kijima's private wiki

Permanent link: [https://kijima.mydns.jp/dokuwiki/doku.php?id=let\\_s\\_encrypt%E3%82%92%E4%BD%BF%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%83%9E%E3%83%AB%E3%83%81%E3%83%89%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E8%A8%AD%E5%AE%9A&rev=1685765778](https://kijima.mydns.jp/dokuwiki/doku.php?id=let_s_encrypt%E3%82%92%E4%BD%BF%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%83%9E%E3%83%AB%E3%83%81%E3%83%89%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E8%A8%AD%E5%AE%9A&rev=1685765778)

Last update: 2023/06/03 04:16

